

# 京成が線路使用料 & アボイダブルコストを負担していないことについて

2024/6/19間嶋作成

	北総鉄道区間（京成高砂～小室） スカイアクセス線開通以後 H22年(2010年)7月～	千葉ニュータウン鉄道区間（小室～印旛日本医大） 北総とCNRとの線路使用料改定以後 (2021年10月1日以後)
線路使用料 京成-->北総	A 資本費相当分（当初12億円くらい） B 乗り替り分(2023年3月期で17.4億円) B > A なので、線路使用料は実質ゼロ	
北総-->CNR		2024年3月期で8.5億円 (前年度15.5億円、前々年度22.6億円)
京成-->CNR		約5～6億円
鉄道施設維持管理	北総鉄道(線路、電路、使用電力等) (いわゆるアボイダブルコスト)	北総鉄道(線路、電路、使用電力等) (2021年10月1日以降北総が引き受けることに)
アボイダブルコスト京成負担	負担なし (スカイアクセス線開通以後のアボイダブル コストへの京成負担は数字に表れていない)  京成はただ乗りといわざるを得ない	負担なし (CNRへ線路使用料名目で一部負担) CNR鉄道の維持管理を背負わされた北総には なんの補填もなし  ここでも京成は、ただ乗り
CNRと北総との線路使用料 についての補足説明		CNRの経営責任は当然ながらCNRにあった。 施設のメンテナンスは北総に外注していた。 旧協定の問題点は運賃全額を線路使用料として いたことだけが問題であった。 2021年10月1日に線路使用料の見直しがされ、 変更後、CNRの施設経営責任と維持管理費負担は 北総に移った。 北総と同程度の本数を走らせる京成は アボイダブルコストをまったく負担していない